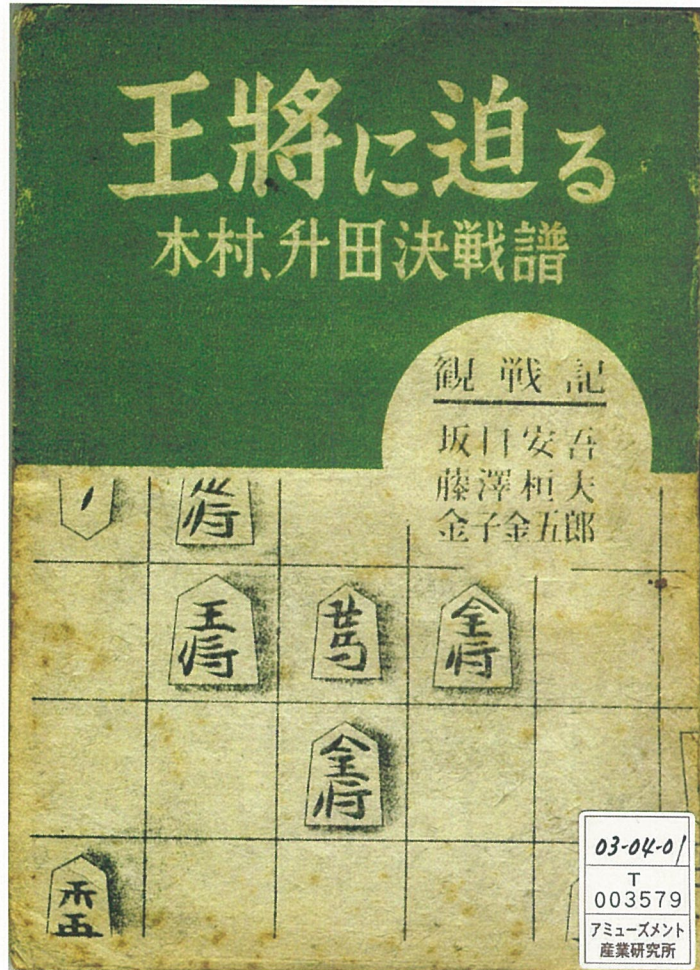




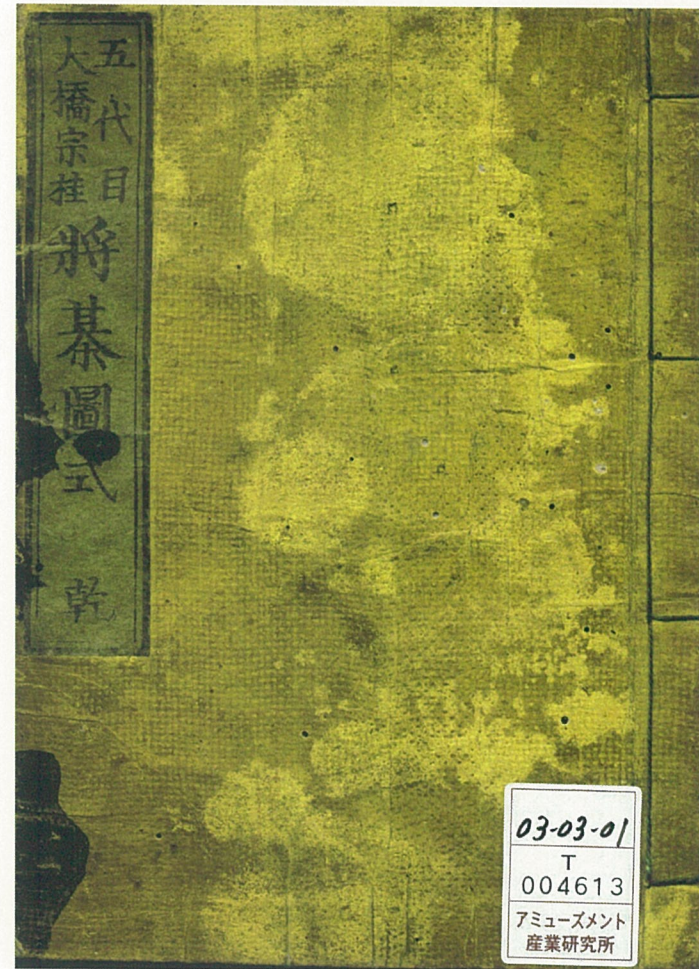
「将棋速成」大正2年12月25日・T 4688
十二世名人小野五平は91歳まで生き、歴代名人の中でも最も長命だったが著書の数は多くない



「将棋新定跡講義」大正2年4月5日・T 4731
関西の人気棋士阪田三吉の著した定跡講座
氏の名前を冠した戦法「阪田流向かい飛車」は現代にも生きる



「王將に迫る」昭和23年5月10日・T3579
 昭和初期を代表する小説家で将棋愛好家でもあった坂口安吾、藤沢桓夫らが木村義雄と升田幸三のライバル対決を描いた読み物



「将棋図式」文化7年6月・T4613
 大橋宗桂（五代）は三世名人伊藤宗看の子として生まれ前名は宗銀、のちに大橋本家の養子となり四世名人となった歴代名人にならい残した詰将棋集が本書